



亀有信用金庫の現況

令和4年4月1日～令和4年9月30日

2022年度上半期



夢づくり、街づくり。

亀有信用金庫

ごあいさつ

かめしんでは、お取引先の皆様に財務内容をはじめ業務内容、地域密着型金融推進状況等について適時・適切にご案内させていただくために3月末の決算期に加え、半期毎の情報開示を行っております。

地域の皆様から信頼され、お役に立てるよう役職員全力で取り組んでまいりますので、より一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ご一読いただければ幸甚でございます。

令和4年11月



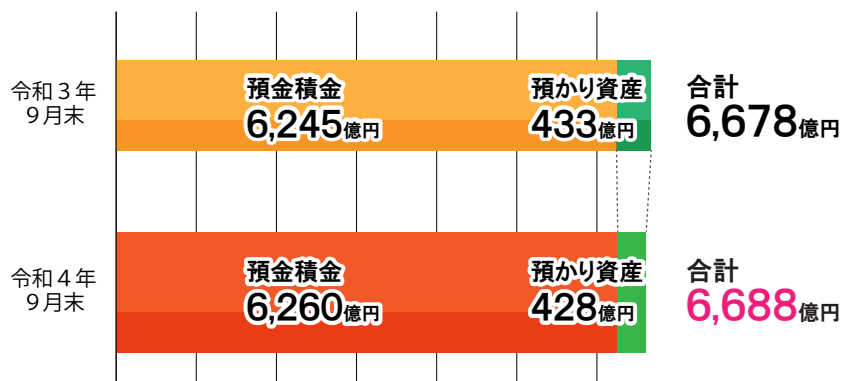
理事長
矢澤 孝太郎

預金積金・貸出金の状況

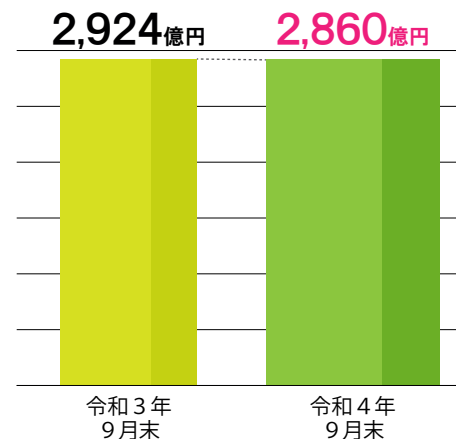
預金積金は6,260億円(前年同期比15億円増加)、預かり資産は428億円(同5億円減少)、貸出金は2,860億円(同63億円減少)となりました。

※預かり資産は、国債(額面)・投資信託(時価)・個人年金保険および終身保険(円貨建は収入保険料、外貨建は時価)の合計です。

■ 預金積金・預かり資産の状況



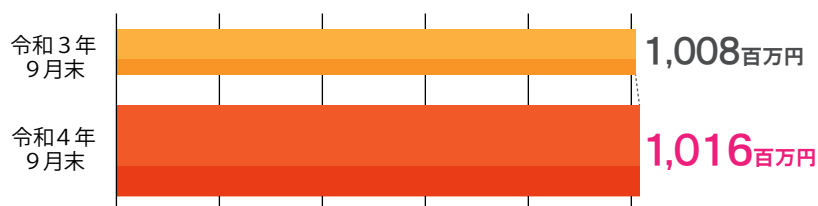
■ 貸出金の状況



損益の状況

令和4年9月期の収益については、資金運用収益が微増となりましたが、その他業務収益が減少したため業務収益は3,969百万円(前年同期比54百万円減)となりました。費用については、経費は前年並みでしたが、資金調達費用並びにその他業務費用が微増となったため業務費用は2,944百万円(同42百万円増)となりました。与信関連費用の増加、株式売却損益の増加等により、臨時収益は255百万円(同112百万円減)、臨時費用は182百万円(同133百万円増)となりました結果、業務純益は1,025百万円(同96百万円減、同8.6%減)となりました。その他の損益は右表のとおりです。

■ コア業務純益の状況



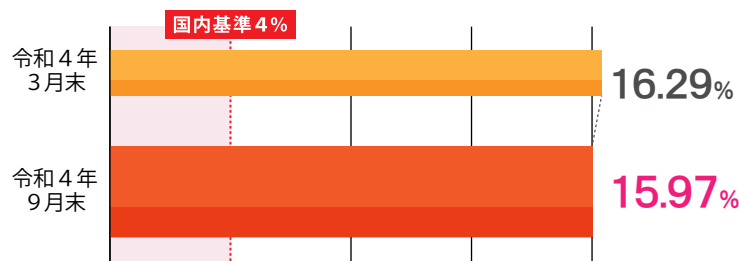
(単位：百万円)

	令和3年9月期	令和4年9月期
業務純益	1,122	1,025
実質業務純益	1,122	1,015
コア業務純益	1,008	1,016
コア業務純益 (投資信託解約損益を除く)	1,008	1,016
経常利益	1,441	1,098
当期純利益	1,149	807

単体自己資本比率(国内基準)

令和4年9月末の自己資本比率は、令和4年3月末比で0.32ポイント低下して15.97%となりました。

引き続き国内基準の4%を大幅に上回り、健全性を維持しております。

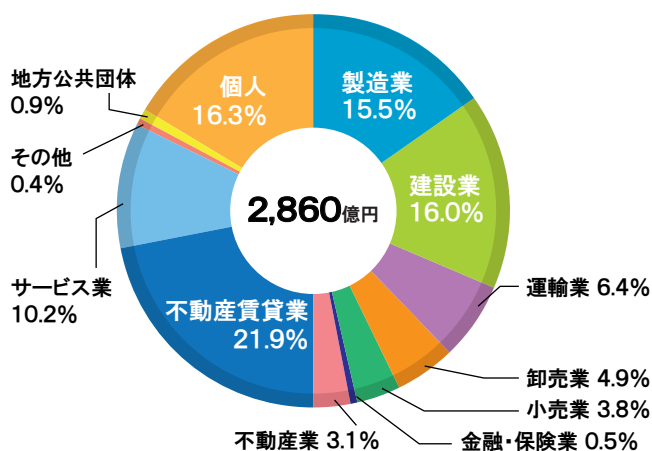


(単位：百万円)

		令和4年3月末	令和4年9月末
コア資本に係る基礎項目	普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	45,717	46,514
	コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	1,171	1,161
	土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	350	350
	コア資本に係る基礎項目の額 (1)	47,239	48,025
コア資本に係る調整項目	無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	169	153
	前払年金費用の額	239	279
	コア資本に係る調整項目の額 (2)	409	433
自己資本の額 (1) - (2) (3)		46,829	47,592
リスク・アセット等	信用リスク・アセットの額の合計額	274,424	284,826
	オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	13,047	13,047
	リスク・アセット等の額の合計額 (4)	287,471	297,874
自己資本比率 (3) / (4)		16.29%	15.97%

貸出金の内訳

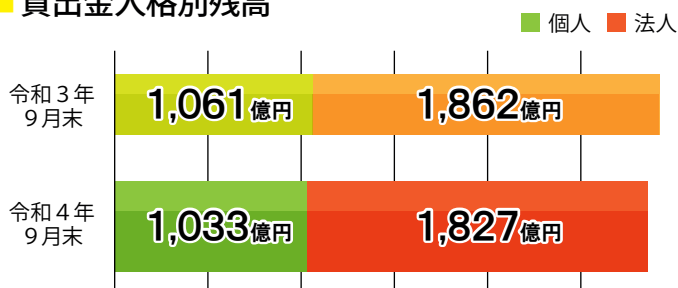
■ 貸出金業種別構成比(令和4年9月末)



■ 貸出金資金使途別構成比(令和4年9月末)



■ 貸出金人格別残高



有価証券の時価情報

時価のある有価証券の評価損益は、高利回り債券の償還や金利上昇に伴い、令和4年9月末で1,896百万円の評価損と前年同月末(6,138百万円の評価益)から8,034百万円減少しています。

■ 満期保有目的で時価のあるもの

(単位：百万円)

	令和3年9月末					令和4年9月末				
	貸借対照表計上額	時価	差額	うち益	うち損	貸借対照表計上額	時価	差額	うち益	うち損
国債	4,482	4,654	172	172	—	4,483	4,346	▲137	—	137
地方債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
社債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	4,482	4,654	172	172	—	4,483	4,346	▲137	—	137

■ その他有価証券で時価のあるもの

(単位：百万円)

	令和3年9月末					令和4年9月末				
	取得原価(償却原価)	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損	取得原価(償却原価)	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損
株式	1,372	1,704	331	360	28	1,334	1,568	234	281	46
債券	196,303	200,349	4,045	4,265	219	192,696	191,277	▲1,419	2,150	3,569
うち国債	38,012	39,353	1,341	1,344	3	41,697	41,428	▲269	747	1,016
うち地方債	56,288	57,260	971	1,034	63	52,641	51,920	▲720	569	1,289
うち社債	102,002	103,735	1,733	1,885	151	98,358	97,928	▲429	834	1,263
その他	25,840	27,429	1,588	1,597	8	33,099	32,525	▲574	884	1,459
合計	223,517	229,483	5,966	6,222	256	227,130	225,370	▲1,759	3,316	5,076

金融再生法上による開示債権

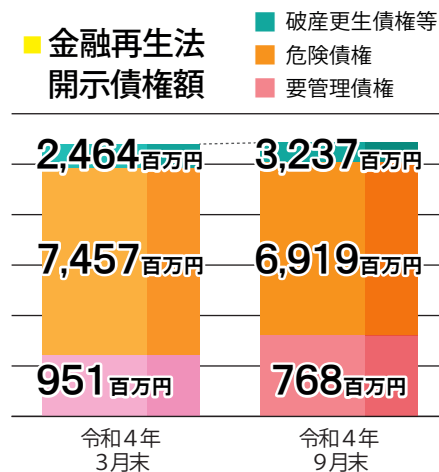
お取引先の経営相談・支援機能の強化及び不良債権の新規発生防止等の体制整備に取り組みましたが、金融再生法開示債権は令和4年3月末と比較し51百万円の増加となりました。

今後とも、お取引先に対する経営改善支援を通じた不良債権削減に注力し、貸出資産の一層の健全化を推進してまいります。

■ 信用金庫法開示債権(金融再生法開示債権) (単位：百万円)

	令和4年3月期	令和4年9月期	増減額
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,464	3,237	772
危険債権	7,457	6,919	▲ 537
要管理債権	951	768	▲ 182
うち三月以上延滞債権	18	10	▲ 8
うち貸出条件緩和債権	933	758	▲ 174
小計	10,873	10,925	51
正常債権	277,424	275,362	▲ 2,061
総与信残高	288,297	286,287	▲ 2,010

■ 金融再生法開示債権額



(注) 令和4年9月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規制(以下「金融再生法」という)」第4条に規定する各債券の категорияにより区分しておりますが、集計方法について以下の点につき年度末に開示する計数とは異なります。令和4年9月末の金融再生法開示債権は令和4年3月末債務者区分残高を前提とし、令和4年3月末から令和4年9月末までに以下の事由が発生した債務者について、当金庫の定める自己査定関連規定に基づき、債務者区分の見直しを行っております。

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| ① 延滞が発生または解消した債務者 | ⑤ 倒産、不渡り等の客観的な事実があった債務者 |
| ② 財務内容が大幅に変化(好転または悪化)した債務者 | ⑥ 差押、仮差押があった債務者 |
| ③ 大幅な条件変更を行った債務者 | ⑦ その他急激な業況の変化があった債務者等 |
| ④ 担保・保証に変更があった債務者 | |

「地域密着型金融」の推進

当金庫では、「地域密着型金融」の推進を経営の重要課題と位置づけております。「地域経済への貢献」と「収益力の向上」を達成するために、中小企業への育成支援機能の強化や新規事業先開拓活動を積極的に推進し、令和4年度下期も引き続き内部管理体制の充実強化に努め、地域密着型金融の機能強化を図ってまいります。

■ 「地域密着型金融」の主要計数実績

	中小企業融資開拓先数	中小企業融資比率	事業再生及びランクアップ先数
令和3年9月期	193先	82.3%	4先
令和4年9月期	202先	82.3%	2先

第15回 新現役交流会の開催

令和4年5月

5月24日～27日の4日間にわたり、対面やZOOMを活用した新現役交流会を開催しました。

- ◆参加信用金庫 8金庫 ◆参加企業数 47社
- ◆参加新現役数 101名 ◆面談件数 162件



当金庫は、今年度も内閣府による『先導的人材マッチング事業』の採択事業者となっています。

ご当地おみやげ 取次プロジェクト

令和4年4月～9月(3回実施)
新庄信金・川之江信金

令和2年度から開始した取次プロジェクトは、今年度上期にも3回実施しました。信用金庫ならではの広域連携を活かして、普段は味わえない美味しいご当地ならではの特産品を多くの皆様にお楽しみいただきました。



ゴールドクラブ年金寄席の開催

令和4年6月15日

かめありリリオホールにて3年振りに開催しました。コロナウイルス感染症対策として入場者数は会場定員の半分程度としました。574名のお客様にお楽しみいただきました。



(注)本資料に掲載している計数は、令和4年9月時点において簡便な方法による自己査定であること、監査法人の監査を受けていない計数であることをご承知おきください。



夢づくり、街づくり。

亀有信用金庫

東京都葛飾区亀有3-13-1 TEL.03-3603-0181(代)
<http://www.shinkin.co.jp/kameari/>